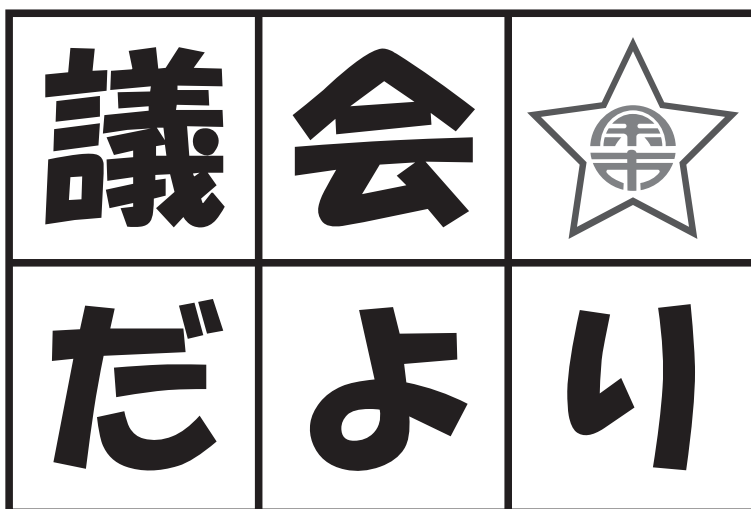


よいち町

2024.12
No.213



学習発表会

※写真は黒川小学校6年生の様子

第3回定例会・第5回臨時会の審議結果

- 議員派遣型の懇談会“どこでも余市町議会”を開催しました P2
- 主な審議結果 P3～5
 - ・農業委員会委員を任命同意
 - ・令和5年度各会計決算を特別委員会に付託
 - ・余市町国民健康保険条例の一部改正案など2件の条例改正案を可決
 - ・国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書など4件の意見書を可決
- 常任委員会の動き P6～7
- 一般質問 P8～11
 - ・7議員が町政全般について14項目を質問

ど こ で も 余 市 町 議 会 を 開 催 し ま し た

これまで議会では令和元年と令和4年には議会の取組などを町民の皆様へ報告する議会報告会を開催し、令和5年にはそれまでの報告会形式での開催を参加される方々との懇談を中心とした懇談会形式に見直し開催してきましたが、これまでの開催経過、さらには参加された皆様のご意見などを踏まえ、より多くの町民の皆様との懇談を目指し、開催申込団体があらかじめ指定する会場に議員が直接出向き、皆様と懇談する「どこでも余市町議会」を実施することにしました。

去る9月13日に申込のあった「かせてくらぶ」と黒川町の余市テラスにおいて初めて開催し、当日は『大規模地震などの災害時の「災害弱者」の避難支援の取り組みについて』をテーマに参加された皆様方と懇談しました。

【懇談会での「意見等」】

- ・聴覚障がい者にはフアックスしか連絡手段がないためナンバーディスプレイで緊急情報を提供するなどの考慮をする必要がある。
- ・現在の余市町には地域の力が不足しており、この状況では地域の協力的体制が整わず、災害時や緊急時の対応も難しくなるので、地域コミュニティの強化や活性化のための方策が必要である。
- ・避難所のバリアフリー対応が不十分で、実際には使い勝手が悪いことがあるので当事者の意見をしっかりと聞き、実際に役立つ支援を提供してほしい。
- ・余市町の防災対応が手薄で、全道の70〜80%が防災無線設備を持っている中、余市町が未整備なのは問題である。防災ガイドブックは詳細が良いが、原発事故に関する情報が欠けている。町民の命を守るため、支援を要する人も含め、全ての住民に迅速に情報が届くスマホ以外の一律の通知方法を早急に実現するべきである。
- ・町内で模擬訓練を実施し、町民の意識を高める企画が有効ではないか。
- ・余市町では自然災害への備え

が不十分で、町民の意識が低い。小学生や幼稚園児を含む次世代に安全で住みやすい町を残すためには、もっとしっかりと考えてほしい。

- ・全ての避難所をバリアフリー化するのには難しいかもしれないが、拠点となる避難所から着実に改善してほしい。
- ・余市町で避難時の備蓄が十分に整えられているか確認する必要がある。
- ・要支援者名簿は作成されただけで進展が見られない。民生委員に配付されたものの、具体的な活用方法が示されておらず、個別計画の策定が進んでいないのが現実である。区会の支援体制が整っていない現状もあるので町民や議会も協力し、区会の位置づけと役割を見直し、実効性のある支援体制を整えることが重要である。
- ・個別計画の作成や防災体制の強化のため区会の積極的な活動や地域住民との連携が必要であり、移住者や若い世代の参加を促進し、成功事例の紹介や講演会なども検討していくべきである。
- ・避難誘導のマッチングや対応方法が大きな課題であり、民生委員は避難行動要支援者名簿を管理することも含めて大変な負

担となっていることから、全体として地域での取組やサポート体制の見直しが必要であり、議員や町の協力が期待されている。

- ・余市町は地域の交流が少なく、新しく引越してきた人たちは、どこで何をたずねるべきか、または困ったときに誰に助けを求めるかが分からないことが多い。
- ・地域の力や細かい訓練を積み重ねることが重要である。町の広報や啓発活動が不十分である。定期的に防災関連の情報や備蓄状況について周知し、町民に身近な問題として認識してもらうことが必要である。



審 議 内 容

令和6年第3回定例会 第5回臨時会

令和6年9月10日～12日に開催の第3回定例会での審議結果、10月29日開催の第5回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

人 事 案 件

□余市町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

欠員が生じていた農業委員について、次の方々の任命に同意しました。

(新) 池田裕之氏
【第3回定例会 同意議決】

(新) 松村宗雄氏
【第5回臨時会 同意議決】

補 正 予 算

一般会計

□令和6年度一般会計補正予算
(第4号)

総額1億9094万円を追加

◆主な補正内容

○余市町ふるさと応援寄附基金積立金

1億6382万円
○豊丘老人寿の家修繕費
154万円

○過年度自立支援医療費国道負担金返還金
1287万円

○周産期医療支援事業負担金
349万円

□令和6年度一般会計補正予算
(第5号)【専決処分】
総額1201万円を追加

◆主な補正内容

○衆議院議員選挙費
1201万円

□令和6年度一般会計補正予算
(第6号)
総額1000万円を追加

◆主な補正内容

○新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料
1000万円

特別会計

□令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
総額4536万円を追加

◆主な補正内容

・令和5年度の負担金等の精算に伴う国への返還金によるもの。

□令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
総額20万円を追加

◆主な補正内容

・保険料還付に係る過年度支出金によるもの。

□令和6年度水道事業会計補正予算(第2号)
総額2820万円を追加

◆主な補正内容

・豊丘浄水場改修に係る基本設計業務委託料等によるもの。

□令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)
総額1750万円を追加

◆主な補正内容

・黒川中通り2号線道道昇格に伴う実施設計業務委託料等によるもの。

条 例 案

□余市町行政手続における特定

の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案

児童手当特例給付の廃止に伴う所要の改正を行いました。

□余市町国民健康保険条例の一部を改正する条例案

被保険者証の廃止に伴う所要の改正を行いました。

決 算 認 定

□令和5年度水道事業会計決算認定について

第3回定例会に提出された令和5年度の水道事業会計の決算については、令和5年度余市町水道事業会計決算特別委員会(寺田進委員長・内海富美子副委員長)を設置し、審査を行っています。

□令和5年度余市町一般会計決算認定について

審 議 内 容

□ 令和5年度余市町介護保険特別会計決算認定について

請負業者 株式会社クボタ北海道支社

□ 令和5年度余市町国民健康保険特別会計決算認定について

○ 令和6年度公共下水道余市下水処理場電気計装設備更新工事

□ 令和5年度余市町後期高齢者医療特別会計決算認定について

契約金額 1億8150万円
工期 自 令和6年9月19日
至 令和8年3月31日

□ 令和5年度余市町公共下水道特別会計決算認定について

請負業者 三菱ブランド・大江特定共同企業体

第5回臨時会に提出された令和5年度の一般会計ほか4特別会計の決算については、令和5年度余市町各会計決算特別委員会（茅根英昭委員長・川内谷幸恵副委員長）を設置し、審査を行っています。



□ 工事請負契約の締結について

○ 令和6年度公共下水道余市下水処理場汚泥処理設備更新工事

契約金額 5億435万円

工期 自 令和6年9月19日

至 令和8年3月31日

図書館で会議録や委員会記録が閲覧できます

議会だよりは、一般質問や審議結果などをわかりやすくお伝えするため、内容を要約して掲載しています。

より詳しい内容をご覧になりたい方は、議会のホームページ、図書館に備えつけの会議録をご利用ください。

決議の審議結果

ジャストミートあたる議員に対する問責決議

第3回定例会において、会議や自身が行う動画配信において不適切な発言を繰り返すなどの行為に対し、議員としての自覚と責任ある行動をするよう猛省を促すとして、問責決議案が議会運営委員会より提案され、可決されました。

□ ジャストミートあたる議員に対する問責決議（全文）

議員は、住民の直接選挙によって選ばれ、住民全体の代表者として議会を構成し、その職務に専念するとともに、町の意味を形成する重要な任務を有し、その身分は町村の特別職の公務員とされ、議員の義務としては「会議に出席する義務」「規律を守る義務」「懲罰に服する義務」を有し、本町議会会議規則第101条においても「議員は議会の品位を重んじなければならない」と規定され、余市町政治倫理条例第4条では「町長等及び議員は、町民全体の奉仕者として、常に人格と倫理の向上に努め、品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。」と規定されています。

しかし、ジャストミートあたる議員は、会議や自身が行う動画配信において、不適切発言を繰り返すなど「議員としての品位の保持及び秩序維持」に努められておらず誠に遺憾であり、議員としての職責、責任の重さなど認識していないと言わざるを得ない。

よって、余市町議会として、これら責任を真摯に受け止め、議員としての自覚と責任ある行動をするよう猛省を促すものである。

審 議 内 容

議案に対する各議員の賛否一覧

各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第3回定例会 議案に対する各議員の賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退

件名	審議結果	明 政 会					よいち未来				公明党		会派に属さない議員			
		佐藤剛司	内海富美子	庄巖龍	中井寿夫	伊藤正明	茅根英昭	山本正行	尾森加奈恵	岸本好且	川内谷幸恵	土屋美奈子	白川栄美子	寺田進	あじやस्ताみーとる	大物翔
令和6年度余市町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第5回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

専決処分事項の承認を求めることについて（令和6年度余市町一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度余市町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度余市町一般会計歳入歳出決算認定について	決算特委 設置付託	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度余市町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度余市町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度余市町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度余市町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○

※藤野博三議長は採決には加わりません。

要望意見書の審議結果

第3回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する支援強化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	財務大臣・厚生労働大臣
自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	経済産業大臣・国土交通大臣
義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書	土屋美奈子議員ほか1人	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

【総務産建常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

農作物の作況について調査を行いました。

【第12回】

(令和6年7月17日開催)

○道の駅再編整備について
(所管事務)

6月8日土曜日に中央公民館で開催された新たな道の駅を核とする交流拠点施設整備町民説明会で事業の目的とコンセプト、整備の大まかな方向性、今後のスケジュールについて説明がなされ、出席者からは整備にかかる費用、道の駅から町なかにある施設等への誘客の方法といった質問や町民への分かりやすい説明、1日限りの出店が容易にできる運用にしてほしいといった要望があり、町長からは道の駅の赤字運営について検討が必要で、将来の事業展開について厳しく精査する必要があるといった発言があり、町としては、今回の要望等を踏まえて基本計画を策定し基本設計業務を進めている旨の説明を受け、審議しました。

○令和5年度指定管理者事業報告書について(報告案件)

総合政策部・建設水道部所管の指定管理施設に関わり、各指定管理者から提出された事業報告書について、それぞれ報告を受けました。

【他の審議案件】

○余市町住生活基本計画の策定について

○余市町公営住宅等長寿命化計画の策定について

○余市町公営住宅等長寿命化計画の策定について

【第13回】

(令和6年8月19日開催)

○地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る令和5年度余市町財政健全化判断比率の状況について(所管事務)

令和5年度の財政健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)について、それぞれの比率、算出根拠等の説明を受け、審議しました。

【他の審議案件】

○第56回北海ソーラン祭り実施結果について

○余市港機能向上計画の策定について

○豊丘浄水場改修等基本設計について

○豊丘浄水場改修等基本設計について

【第14回】

(令和6年9月18日開催)

○農作物の作況について

【所管事務】

今年度の農作物の作況について、リンゴ、高設イチゴ、ブドウ、トマトなどの園地を現地調査の上、生育状況について説明を受け、審議しました。



総務産建常任委員会現地調査

○北海道新幹線並行在来線対策協議会について(所管事務)

これまでの協議会及び後志ブロック会議では長万部・小樽間の地域交通の確保方策の方向性をバス方式とし、今後のルートやダイヤの検討を行い、バス事業者との協議を進めていくことが確認されていることや令和6年8月28日に開催された第17回後志ブロック会議には独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構と北海道中央バス、ニセコバス、道南バスの出席があり、

2030年度の開業が困難であると判断した旨の報告や、乗務員をはじめとする人員不足が深刻であり、既存のバス路線を現行どおり運行することすら困難な状況であるが、人員不足などの諸課題の解決策の検討も含め、今後も北海道や沿線自治体と協議や相談などを行っていきたいと説明がなされ、また、本年7月12日、13日に実施したJR乗降調査では、土曜日に日帰りの観光利用が多いことが推測される結果から、町としても通勤・通学等の生活利用はもとより、観光利用の実態把握に努めながら、地域住民をはじめとする利用者の便益確保のための取組を進めていきたいとの説明を受け、審議しました。

○余市あゆ場公園(パークゴルフ場等)指定管理者募集要項について

○余市町総合体育館及び余市運動公園有料公園施設指定管理者募集要項について

○黒川町営駐車場・黒川第2町営駐車場指定管理者募集要項について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

○包括連携協定の締結について

常任委員会の動き

【民生教育常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

認可外保育施設等の利用料の助成について調査を行いました。

【第13回】

(令和6年6月12日開催)

○認可外保育施設等の利用料の助成について(所管事務)

児童福祉法で認定されている保育施設は国の制度や町の単独事業により保育料が無償化されているが、認可外保育施設の利用料は住民税非課税世帯以外は自己負担となっていることから、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため認可外保育施設の利用料の助成を行うものであり、対象は認可保育所の利用と同等の要件を満たしている住民税課税世帯の3歳未満児童で、国の基準に準じて助成額を設定する旨の説明を受け、審議しました。

○余市町健康づくり計画(いのち支える余市町自殺対策行動計画)の策定について(所管事務)
健康増進法に基づく基本方針が改正され、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が全体目標に掲げられ、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現が示されたことから余市町健康づくり計画と終期を迎えるいのちを支える余市町自殺対策行動計画を統合する計画を策定することについて説明を受け、審議しました。

○町営斎場の建替事業について(所管事務)

測量調査や地質調査を行い、建設に向けて配置計画や概算工事費を算定することを目的に実施を予定している町営斎場建替事業基本計画策定業務の内容、用地取得に向けた取組について説明を受け、審議しました。

○余市町放課後児童クラブ条例の一部改正について(報告案件)
放課後児童クラブのクラス増設に伴う条例の一部改正について報告を受けました。

「他の審議案件」
(付託案件)

○陳情第1号 補聴器購入助成制度の創設を求める陳情書(報告案件)

○余市町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
○資源物分別収集運搬処理業務について
○北後志地域相談支援事業委託業務に係る消費税等の取扱いについて

【第14回】

(令和6年7月31日開催)

○部活動の地域移行について(所管事務)

令和5年度からの地域スポーツクラブ活動体制整備事業として、特定非営利活動法人よいスポと地域移行に向けた実証事業の業務委託契約を結び、関係団体へのヒアリング、検討会議を経て令和6年度も継続し、地域指導員19名、うち兼職兼業職員5名により軟式野球、サッカー、バスケ、バドミントンで実施しており、軟式野球ではクラブチームとして中体連競技会の参加を実現していることや、今後の体制整備、課題について説明を受け、審議しました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

基本計画策定業務、測量調査、地質調査が業務内容である町営斎場建替事業基本計画策定業務の受託者が決定し、その具体的な内容とスケジュールについて説明を受け、審議しました。

○令和5年度指定管理者事業報告書について(報告案件)

教育委員会所管の指定管理施設に関わり、指定管理者から提出された事業報告書について報告を受けました。

「他の審議案件」
(所管事務)

○小樽・北しりべし消費者センター事業実績について(報告案件)
○予防接種法に基づく給付について

【第15回】

(令和6年8月28日開催)

○国民健康保険被保険者証の廃止について(所管事務)

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う国民健康保険証の廃止について説明を受け、審議しました。

○周産期医療に関する財政支援について(報告案件)

北後志地域における周産期医療の安定的な維持を図ることを目的に今年度も小樽協会病院に対し財政支援を行う旨の報告を受けました。

「他の審議案件」
(報告案件)

○北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
○余市町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

一 般 質 問

第3回定例会での一般質問は、7人の議員から14件の町政全般に対する質問がありました。

一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員自らが要約し、その原文を掲載しています。

尾森加奈恵 議員

(よいち未来)

町長のワイン国際資格取得が もたらす地域振興について

質問 尾森議員 町長が世界で最も認知度の高いワイン資格WSETのレベル3を取得されたことでワイン産業の振興や地域発展が加速するのではと期待されているが、ワイン産業を核にしたまちづくりの現状と課題、余市町産のワインを世界に展開

していくビジョンと取組について伺いたい。

答弁 齊藤町長 余市町の知名度向上、特産品のブランド力向上による産業の活性化を通じた町民所得の向上に向けた取組を積極的に実施し、世界的なレストランや国際会議でも本町のワインが提供されるなど着実に実を結んでいるところであり、世界中に余市産ワインとその産地としての余市町をこれまで以上に売り込んでいくことで関連産業も含めた地域全体の底上げを図っていききたいと考えます。

余市町総合体育館 の運営について

質問 尾森議員 総合体育館の運営に関わり、次の事項を伺いたい。

- ① 駐車場不足の対応について。
- ② 現在使用禁止になっている二階更衣室には備品等が収納されているが今後更衣室として活用するののか。
- ③ 雨漏りなどの修繕は指定管理者とどのように協議しているのか。
- ④ 駐車場及び通路などの除雪の

対応について。

⑤ 個人利用でアリーナの8分の1を使用することを求める声に対する見解について。

答弁 前坂教育長 ① 利用申込時の際に大会の主催者等に対して総合体育館の駐車場のほか、野球場や自由広場の駐車場が使用できる旨を説明し、協力を求めています。
② 避難場所における災害備蓄品の保管庫として利用しているところですが、室内を有効に使えるよう整理に努めます。
③ 1件3万円以下の小規模修繕は指定管理者が行い、それを超

える場合は教育委員会と協議し、できるだけ早く対応しています。

④ 出入口の除排雪と非常口の確保は指定管理者が行い、駐車場及び通路等は町の建設課が日降雪量15センチ以上で除雪しています。

⑤ スペースを有効に使うことはよいのですが、利用者の安全確保や利用実態を考慮し、団体で10人以上の使用については占用積を規定しております。



余市町総合体育館

大物 翔 議員
(無会派)

歩行者等の休憩場所設置に よる地域活性化について

質問 大物議員 本町は公共交通網が充実していないため日常

生活で車両移動に頼ることが多く、筋力低下につながるおそれがあるが、歩くことで心身の健康の維持向上のみならず経済面も含めて町内に活気をつくり出す契機になると考えられ、また目的地の途中でベンチなど休憩できる場所について要望があるが、次の事項を伺いたい。
① 歩行者が多い道の把握状況について。
② 歩道などにベンチを設置する際の基準について。
③ 休憩場所を設置することは健康増進、経済、地域のコミュニティ機能向上への効果が大きいと考えるが見解について。

答弁 齊藤町長 ① 巡回で確認していますが、数値的なデータはありません。
② 道路占用に関する法令に基づいて個別に判断しています。
③ 日常的な歩行が生活習慣病予防やメンタルヘルスなど健康上の効果が期待できると承知しています。

質問 大物議員 ① インフラの維持管理の観点からも歩行者数の調査をする考えはないか。

答弁 齊藤町長 ① 現時点では調査を行う予定はありません。
質問 大物議員 ② 国交省の基準に基づけば歩道などにベンチを設置できることを確認してい

一 般 質 問

るが町の見解について。

答弁 齊藤町長 ②具体的な位置関係によって個別に判断することになります。

質問 大物議員 ③地域のコミユニティや経済への影響について。

答弁 齊藤町長 ③歩行中の出会いによる影響はあると考えますが、経済面についてはデータがないため分かりません。

質問 大物議員 経済につながるため健康アプリを活用してデータ集積する考えはないか。
答弁 齊藤町長 歩行と経済活

性の関連性が不透明なのでアプリを使ったデータ収集は考えていません。

質問 大物議員 既に休憩スペースが設置されている他の事例では、語らいが起きて好評だと聞いており、福祉、政策、商工、建設などいろいろな分野に副次的な効果をもたらすと考えるが見解について。

答弁 齊藤町長 降雪のある北海道には不向きですが引き続き検証を進める必要があると考えます。

次の事項を伺いたい。
①ユマニチュードの取組の経緯と現状について。
②認知症サポーター養成講座とユマニチュードの違いについて。
③認知症サポーター養成講座の現状と今後の目標について。

答弁 齊藤町長 ①令和2年に認知症カフェを実施した際のユマニチュードのDVD鑑賞や介護職員初任者研修で継続してユマニチュードを講義に取り入れており、今後も周知を図ります。
②認知症サポーター養成講座は認知症の正しい知識や理解促進を目的とし、講義内容は認知症本人を尊重する考え方や対応方

法を学ぶもので、ユマニチュードと基本的に共通する部分もあると認識しています。

③令和6年8月末現在で1384人が認知症サポーターとなっており、令和8年度末までに目標を1800人とし、増員のため今年度は町民講座を開催する予定で、小中学校を対象とした認知症キッズサポーター養成講座も継続して実施しています。

質問 白川議員 福岡市でユマニチュードの実証実験をした結果、介護者の不担当が低下した効果が見られたとあるが、本町で検証したことはあるか。

答弁 齊藤町長 検証はしていません。

質問 白川議員 ユマニチュードを学ぶことで新たな発見につながるかと考えるが、検証を試みてはどうか。

答弁 齊藤町長 介護の一つの手法として位置づけられているので、検証するような類のものではないと考えます。

質問 白川議員 まずは家族向けの講座を開いてはどうか。

答弁 齊藤町長 現在の講座でも理念を周知してはいますが、検討していきます。

質問 白川議員 認知症サポーター養成講座のさらなる展開に取り組みべきではないか。

答弁 齊藤町長 第9期余市町介護保険事業計画の方針により各種政策を引き続き実施します。

能となるため高齢化と医療アクセスの課題を解決する効果的な手法の一つと考えるが、オンライン診療サービスの可能性について見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 オンライン診療サービスは医師が遠隔で診療を行うため、ガイドラインが設定され、当初は僻地、遠隔地医療が目的でしたが、新型コロナウイルスの流行や医療DXの促進もあり、現在では都市部でも診療が行われていると承知しており、オンライン診療は自宅

診察が受けられ、医療機関への通院が困難な住民に対して効果が期待できるため、機会があれば余市医師会と意見交換していきます。

質問 土屋議員 環境整備で自治体も関わらなければならぬと考えており、相手方があってのことだが町の考えは重要なポイントであることから自治体としてはインフラ整備や導入をすすめるための医療機関との連携、使える交付金の検討など、どういう姿勢で向かうのがキーになると考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 町の方針としては、優先度は高く設置しておらず、医療機関が多く、全くな自治体ではないので、まだ対面での診察でと考えており、慢

白川栄美子 議員 (公明党)

認知症の人に寄り添うケア技法 ユマニチュードUNISON

質問 白川議員 一人でも多くの住民が認知症の人に対する適切な接し方を身につけるための技法として、相手が理解できるように、あなたを大事に思っているということを見る、話す、触れる、立つの4つの柱で届ける効果的なケア技法であるユマニチュードが注目されているが、

土屋美奈子 議員 (よいち未来)

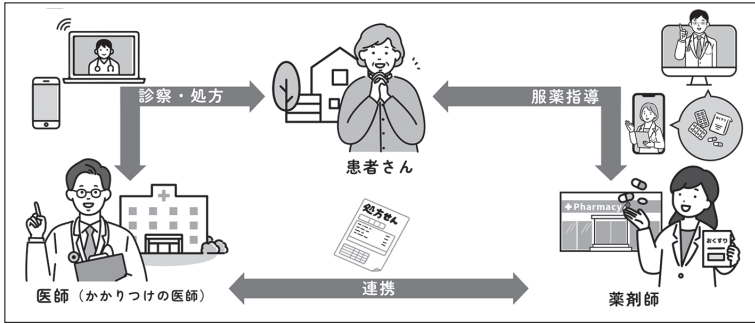
オンライン診療サービス の導入について

質問 土屋議員 高齢化の進展に伴って医療や介護の需要が増加しているが免許返納者の増加や公共交通機関の減便などで医療機関へのアクセスが課題となっており、特に慢性的な疾患の場合、薬の処方には医師の診断が必要だが、定期的に通院する必要があり、サービスの導入によって自宅での処方も可



親子で学ぼう！認知症教室

一般質問



オンライン診療のイメージ（厚生労働省HPより）

性疾患に関しては、まだそこまでの需要はないと考えていますので、早急に導入をすることは考えていません。

質問 土屋議員 病院に行くのが大変だという町民からの声が多くあることから町内に需要があると考えており、町内に専門医がない場合は町外へ通院しなければならぬが、オンラインで先生と話をし、処方箋を送ってもらい、薬局が薬を届けられる仕組みもあるので、町

民のニーズや動向も把握しながら適時進めていただきたい。

答弁 齊藤町長 事業者ではないので行政としてどこまで絡むかという問題もありますが、いずれにせよ医師会と意見交換しながらやっていきたいと考えます。

~~~~~

## 茅根 英昭 議員 (明政会)

### 余市町の観光・産業振興について

**質問 茅根議員** 1次産業の振興は町の柱であると考えているが各産業では人手不足や資材高騰が課題であり、また公共施設の老朽化も散見されるが今後の方針について、次の事項を伺いたい。

① 観光や農業、漁業の人材不足に対する考え方について。

② 農業、漁業の最新の産出額と資材高騰に対する今後の支援について。

③ 公共施設のうち観光に関する施設の整備計画について。

**答弁 齊藤町長** ①観光分野の人材確保の取組は各種制度の活用や観光業務の省力化など作業

効率の向上のためハローワーク等の関係機関と連携を図り、農業、漁業の担い手確保について、新規就農活動センターや地域おこし協力隊、国、道の補助金等の活用、漁業協同組合との連携を図りながら、積極的に本町で新規就業する方を支援します。

② 農水省のデータベースでは、令和4年の推計で農業産出額は約58億円、北海道が公表する水産現勢では令和4年で約18億円となっており、資材高騰については農業、漁業の方々に多大な影響を与えていると認識しており、関係団体と連携し国、道の補助金等を注視します。

③ 現在新たな道の駅の再編整備のため民間提案制度を活用し、詳細協議を鋭意進めています。

**質問 茅根議員** ①自治体職員の副業、兼業を認めることで人材確保につながるのか。

**答弁 齊藤町長** ①需要と動向を見極めて実施します。

**質問 茅根議員** 並行在来線の諸問題について、次の事項を伺いたい。

① 廃止に伴う考え方について。

## 佐藤 剛司 議員 (明政会)

### 町内公共施設の老朽化とコンパクトシティについて

**質問 佐藤議員** 町内の公共施設は老朽化が進んでおり、また人口減少によって地域のコミュニティも住民同士のつながりが

希薄になり、担い手不足も相まって地域活動の継続も困難になってきていることから、これからの余市町の人口減少や財政状況、インフラ整備を見据えて次の事項を伺いたい。

① 公共施設を効率的に運営し、コスト削減等ももたらして将来的に複合、コンパクト化する考えはあるか。

② 現在小中学校の統合等に関する議論が行われているが、町の構想はあるか。

**答弁 齊藤町長** ①施設利用者をはじめとする町民皆様との調整協議などを行いながら、それぞれの公共施設の在り方について他施設との統合や機能の複合化も含め、具体的な方向性を導いていきたいと考えます。

**答弁 前坂教育長** ②学校教育においては児童生徒が集団の中で多様な考えに触れることを通じて社会性や規範意識を身につけることが重要であることから、一定規模以上の学校の確保が必要であると考えており、今年度は学校運営協議会や教職員、保護者の方々などで組織する検討会において統合の方向性を議論し、合意形成を図り、統合の方式を決定するとともに、学校は児童生徒の学びの場であると同時に、地域コミュニティの精神

希薄になり、担い手不足も相まって地域活動の継続も困難になってきていることから、これからの余市町の人口減少や財政状況、インフラ整備を見据えて次の事項を伺いたい。

① 公共施設を効率的に運営し、コスト削減等ももたらして将来的に複合、コンパクト化する考えはあるか。

② 現在小中学校の統合等に関する議論が行われているが、町の構想はあるか。

**答弁 齊藤町長** ①施設利用者をはじめとする町民皆様との調整協議などを行いながら、それぞれの公共施設の在り方について他施設との統合や機能の複合化も含め、具体的な方向性を導いていきたいと考えます。

**答弁 前坂教育長** ②学校教育においては児童生徒が集団の中で多様な考えに触れることを通じて社会性や規範意識を身につけることが重要であることから、一定規模以上の学校の確保が必要であると考えており、今年度は学校運営協議会や教職員、保護者の方々などで組織する検討会において統合の方向性を議論し、合意形成を図り、統合の方式を決定するとともに、学校は児童生徒の学びの場であると同時に、地域コミュニティの精神



的支柱としても機能している施設であり地域コミュニティの核としての機能を含めた施設の在り方などについても検討していきたいと考えています。

**質問** 佐藤議員 地域コミュニティの中心となる公共施設を一つにする考えはあるか。

**質問** 佐藤議員 人口減少が思ったより早いと考えており、スピード感のある対策を取るべきではないか。

**質問** 佐藤議員 町独自の補助については現在考えはありません。

**質問** 佐藤議員 町独自の補助については現在考えはありません。

**質問** 佐藤議員 町独自の補助については現在考えはありません。

**ジャストミートあたる議員  
(無会派)**

**教職員の労働負担  
軽減について**

**質問** ジャストミートあたる議員 現在教育補助員が学校全体で2名しかおらず、学年ごとに1人ずつ配置してほしいとのことだが、教育補助員の拡充について見解を伺いたい。

**質問** ジャストミートあたる議員 1年間で補助できる予算の上限を決め、その予算内で補助できる人数がオーバーした場合抽せんという方法を使えば手に負えないほどの予算額にはならないと思われるが、所見を伺

**質問** ジャストミートあたる議員 令和6年度より森林環境税の徴収が一律1000円住民税に加算される形で始まったが、令和4年度は余市町も65%が未活用となっており、これから何に活用するべきと考えるか。

**質問** ジャストミートあたる議員 令和6年度より森林環境税の徴収が一律1000円住民税に加算される形で始まったが、令和4年度は余市町も65%が未活用となっており、これから何に活用するべきと考えるか。

**質問** ジャストミートあたる議員 令和6年度より森林環境税の徴収が一律1000円住民税に加算される形で始まったが、令和4年度は余市町も65%が未活用となっており、これから何に活用するべきと考えるか。

**高齢者の補聴器の  
補助について**

**モイレ山の観光資  
源化について**

**質問** ジャストミートあたる議員 モイレ山のこれからの活用について所感を伺いたい。

**質問** ジャストミートあたる議員 モイレ山のこれからの活用について所感を伺いたい。

**質問** ジャストミートあたる議員 モイレ山のこれからの活用について所感を伺いたい。

**議会のホームページはこちら**

<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

議会のホームページを随時更新し、議会からの情報発信に努めています。更なる充実に向けて忌憚のないご意見をお寄せください。



余市町議会 検索



# 議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は12月上旬に開催の予定です》

- ◆本会議には、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。
- ◆常任委員会や特別委員会は、委員長の許可を得なければ傍聴できないことになっていますが、プライバシーに関わる審議など特別の事情がない限り傍聴を認めています。



※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧ください。議会事務局(TEL21-2132)へお問い合わせください。

## 議会日誌

### 8月

- 20日 議会広報研修会
- 28日 民生教育常任委員会
- 29日 後志町村議会議員研修会

### 9月

- 2日 議会運営委員会
- 9日 議会運営委員会
- 10~12日 第3回定例会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会  
水道事業会計決算特別委員会
- 13日 議会懇談会(どこでも余市町議会)
- 18日 総務産建常任委員会
- 27日 議会運営委員会

### 10月

- 9日 民生教育常任委員会  
長野県軽井沢町議会行政視察来訪
- 16日 総務産建常任委員会  
広島県大崎上島町議会行政視察来訪
- 18日 北しりべし廃棄物処理広域連合議会
- 25日 議会懇談会(どこでも余市町議会)  
後志教育研修センター組合議会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 第5回臨時会  
各会計決算特別委員会
- 30~31日 北後志町村議会議長会行政視察

### 11月

- 1日 北後志町村議会議長会行政視察
- 8日 水道事業会計決算特別委員会
- 12日 北海道横断自動車道中央要望
- 13日 町村議会議長全国大会
- 13~15日 後志町村議会議長会行政視察
- 19日 総務産建常任委員会

## 編集後記

令和6年は年明け早々に能登地方での大地震や、9月に掛けては追い打ちをかけるかのような豪雨災害が発生し、何とも言い難い自然の恐ろしさを痛感しております。

余市町においても、災害に対する備えをしておりますが、これで全てが大丈夫ではないことは、誰しもが認めるところではないでしょう。災害が発生した際にどう行動すべきかを常日頃から一人一人が把握し備えておくことが重要であり、自助・共助・公助をどうリンクさせていくか、議会としても積極的かつ能動的な対応が出来る体制を整えて行きたいと考えております。

今年度から、従前の議会懇談会から仕組みを変えて、議員が町民の皆様方の所に直接出向いて懇談する「どこでも余市町議会」を実施しておりますが、既に町内2か所で開催しております。町民の皆様から町政に対する生の声をお聞きすることが出来る有意義な場であることから、これからもこの場が広がって行くことを切に望んでおります。終りに来年が良い年となるよう祈念しております。

総務産建常任委員会  
委員 伊藤 正明